作成日　2026 年 9 月 16 日
第 1 版作成

2025 年 1 月 1 日～2026 年 12 月 31 日の間に当病院を受診され Film Array 呼吸器パネル検査を受けられた方ならびに肺炎等の呼吸器感染症で診療を受けられた方とそのご家族の方へ

―「呼吸器診療における Film Array 呼吸器パネル検査の臨床的有用性の検討」へのご協力のお願い―

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者	川崎医科大学総合医療センター	総合内科学 1	准教授	白井　亮
研究分担者	川崎医科大学総合医療センター	総合内科学 1	教授	友田恒一
	川崎医科大学総合医療センター	総合内科学 1	講師	太田浩世
	川崎医科大学総合医療センター	総合内科学 1	講師	小山勝正
	川崎医科大学総合医療センター	総合内科学 1	臨床助教	小西貴之
	川崎医科大学総合医療センター	総合内科学 1	大学院生	森　茂人

１．研究の概要

呼吸器ウイルスなどの病原体に感染すると、肺炎や気管支炎などの感染症が生じやすくなり、また気管支喘息や慢性閉塞性肺疾患（COPD）などの呼吸器疾患の悪化や重症化に深く関与することが知られています。このためこれらの感染に対して早期に検出することができれば適切な感染対策や治療方法の決定に極めて有用になると考えられます。近年、マルチプレックス PCR 法を用いた FilmArray 呼吸器パネルという方法で迅速かつ同時に多数の呼吸器病原体を検出することが可能となりました。当院でもこの検査を 2025 年 1 月から導入しています。しかしながらこの検査の実際の有用性などについてはまだ十分にはわかっていません。そこでこの検査の有用性を明らかにするために通常診療でこの検査を行った方を対象に有効性を評価したいと考えています。肺炎等の呼吸器感染症で診療を受けた方のうちこの検査を受けていない方と比較して、治療内容や臨床経過の違いについても検討します。2025 年 1 月 1 日～2026 年 12 月 31 日の間に、この検査を施行した方、肺炎などで入院され比較対象と選定された方が対象となります。

２．研究の方法

1）研究対象者

2025 年 1 月 1 日～2026 年 12 月 31 日の間に当院を受診し、通常診療として FilmArray 呼吸器パネルの検査を受けられた方、および同期間に肺炎等の呼吸器感染症で診療を受け、比較対象として選定された方を対象とします。

2）研究期間

倫理委員会承認日～2028 年 3 月 31 日

3）研究方法

2025 年 1 月 1 日～2026 年 12 月 31 日の間に当院で FilmArray 呼吸器パネル検査を受けられた方や肺炎治療を受けられた方のうち、研究者が診療情報をもとに検査に関するデータを選び、実際の治療についての分析を行い、FilmArray 呼吸器パネル検査の有効性について調べます

4）使用する情報の種類

患者情報：年齢、性別、身長、体重等
検査やデータ：抗菌薬などの治療薬、血液検査等

5）情報の保存及び二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から 5 年間、パスワード付きの専用 USB メモリに記録し、川崎医科大学総合内科学 1 の施錠可能なデスクに保存します。
なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

6）研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2027 年 12 月 31 日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など医療サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

＜問い合わせ・連絡先＞

川崎医科大学総合内科学 1　　准教授　白井　亮　電話 086-225-2111　診療時間内

３．資金と利益相反

この研究は、学内研究費を用いて行われる予定です。
この研究において、資金の受入及び使用はありません。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。
本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。